



一般社団法人北海道身体障害者福祉協会  
会長 藤田 孝太郎



第68回全道身体障害者福祉大会登別大会の開催にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

全道各地から数多くの参加者とともに、市制施行50年を目前に控えた、湯のまち、観光のまち、ここ登別市において第55回大会以来となる68回目の全道身体障害者福祉大会を開催できました。

大会の開催にあたりましては、登別市御当局、登別市社会福祉協議会様をはじめ、多くの福祉関係諸団体、ボランティア、多くの市民の皆様、そして地元の登別身体障害者福祉協会の皆様には大変なご尽力をいただきましたことを、この場をお借りして心から感謝を申し上げます。

永年地域社会での障がい福祉活動や御自身がその障がいを克服され懸命に御努力をされた事や援護をしてきたことが評価され、本日表彰される皆様方に心からお祝いと感謝を申し上げます。これからも健康にご留意なされて、それぞれの地域で、より一層の御活躍を御期待申し上げます。

さて、昨年は誰もが予想もしなかった胆振東部地震があり、すべての道民に不便が生じました。昨今の災害は、ほぼすべてが大規模災害であり想定を超えるものばかりで、もはや想定外の災害と一言で片づけられるものではなく、想定外に対応できる国土の強靱化と、即座に対応、対処ができるシステムの構築が急務であると誰もが確信したものでした。

北海道身体障害者福祉協会は、身体障がいの部位ごとの各団体や知的、精神の団体等あらゆる障がい者団体と連携をとり、すべての障がいへの理解と啓発に努めており地域で生まれ、地域で育ち、自分の大好きな地域で暮らせる社会を目指しているところです。

北海道身体障害者福祉協会は、少ない事務局体制ではありますが、様々な補助事業や委託事業を通して加盟団体の皆様とともに、北海道に根ざした心のバリアフリーを広げ、障がい者差別を禁止して、誰もが住みやすい地域社会をめざして今後も一層の努力をさせていただきたいと考えております。加盟団体の皆様とともに北海道の障がい者福祉の推進に邁進してまいりましょう。

結びに本大会にご参加頂きました皆様方が増々地域福祉の活動の中心となって、お元気でご活躍されることを願い、関係各位、ボランティアの皆様方、登別市民の皆様方にお世話になりましたことに御礼を申し上げご挨拶といたします。